

みさと

暑中お見舞い申し上げます

美郷町 美郷大学



主な記事

- みさと町民文化祭……………②～③
- まちかどウォッチング……………④～⑤
- おめでとうございます……………⑥～⑦
- 集落支援員だより（君谷地域）……………⑫
- これならできる災害対策……………⑬
- 地域おこし協力隊通信（吾郷地域）……………⑭
- 文芸コーナー（石川短歌会）……………⑭
- 慶弔／8月行事予定……………⑯

今日の顔

自慢の絵手紙で暑中お見舞い

生涯学習講座「美郷大学」の講座で、6月29日（水）受講生が絵手紙づくりに挑戦。

旬を迎えたナスやジャガイモ、夏みかん、ピワなどを題材にして思い思いに筆を走らせました。

参加者の皆さんは「今年は味のある暑中見舞いを出せるね♪」と喜んでいました。

（関連記事4ページ）

ふれあって共に学ぼう

第6回

みさと町民文化祭

美郷町内の文化団体が日頃の活動成果を発表する「みさと町民文化祭」が6月19日(日)、大和中学校体育館で開かれました。ステージでは、大正琴や銭太鼓、舞踊などが披露されたほか、会場内ではパッチワーク、切り絵、陶芸などの作品展示、バザーも並び多くの来場者で賑わいました。



●展示の部

土楽上野、和紙ちぎりえサークル美郷、美郷町銀山街道を護る会、石川短歌会、比之宮公民館リサイクル教室、都賀行公民館切り絵教室、都賀行(潮)公民館編み物教室、別府公民館子ども習字教室、都賀公民館俳句教室「まほろば句会」、都賀・比之宮公民館パッチワーク教室、美郷町老人クラブ連合会、地頭所婦人会あけび同好会、都賀行隣保館(デジカメ教室、川柳教室、書道教室、華道教室、編み物教室、竹とんぼペイント体験)、浜原隣保館(習字作品、ちぎり絵作品)、放課後子ども教室、グループホーム マホロバの里、まほろば大和、紙芝居読み語り、都賀・長藤地域協議会

●模擬店・バザーの部

都賀地域婦人会、森脇商店、商工会女性部、大和特産加工センター、JA 島根おおち女性部、JA 島根おおち青年連盟大和支部、伊藤商店、ひじきドリーム、大和食堂、美郷町老人クラブ連合会、大志〇、久喜原農業振興会



●舞台出演の部

舞台: 上野銭太鼓・都賀地域婦人会、千絵乃会、邑智五絃会、比之宮公民館(舞踊教室、カラオケ教室)、都賀公民館(舞踊教室、まほろば句会)、都賀行隣保館コーラスクラブ、かすみ草の会、たかみ一座、今福優と「石見の風」、はあ～もにい～、都神楽団

●講演会 「ふるまい向上など あ・れ・これと」(公益財団法人ふるさと島根定住財団理事長 藤原 義光氏)



このコーナーでは、町内で行われた様々なできごとをご紹介します！

生涯学習講座「美郷大学」の入学式が6月1日（水）、山村開発センターで行われ、町内から参加した新入生16人が学びのスタートを切りました。同講座は、平成3年4月に旧邑智町が「長寿大学」の名称で開設。以来、350人あまりの卒業生が、地域づくりの様々な場面で活躍しています。町では、時代の変化に対応できる人材育成をめざし、20期目の節目を迎えた今年、「美郷大学」に改名し、新たな生涯学習講座として生徒を募りました。美郷大学は、



▲美郷大学の新入生の皆さん（2列目以降）

「学びの道に終わりはない」～「長寿大学」改め「美郷大学」として新たにスタート

月2回のペースで開かれ、歴史や環境問題などのほか、健康づくりのための運動やパソコンなど多岐にわたって学習を深めることになっています。6月29日（水）にあった講座では、邑南町の藤川玲子さんを講師に迎え、絵手紙づくりに挑戦。旬を迎えたナスやジャガイモ、夏みかん、ピワなどを題材に思い思いに筆を走らせました。参加者の皆さんは「今年は味のある暑中見舞いを出せるね」と喜んでいました。



▲思い思いの題材を観察しながら筆を動かす受講生



▲清水溥万さん（左）とともに畦際の生き物を観察して歩く子どもたち

田んぼに棲む生き物の調査をとおり、身近にある水田が果たす役割を学ぼうと邑智小学校4年生児童25人が、6月9日（木）、町内で田んぼの生き物調査を行いました。畦際などでカエルやオタマジャクシを捕まえた子どもたちは、田んぼの中に想像以上に多くの生物が棲んでいることを実感しました。生き物調査は、邑智小学校が「総合学習の時間」を使い実施。島根県西部農林振興センター・県央事務所や役場産業

「いっぱいいたよ♪」～邑智小4年生田んぼの生き物調査



▲見て！見て！「ガムシ」を捕まえたよ♪

振興課職員も参加し、高畑の清水溥万さん方の無農薬水田約46アールで4班に分かれ取り組みました。梅雨の晴れ間のもと、子どもたちは畦際を歩きながら水中に目を凝らし、ドジョウやヤゴなどを見つけるとタモですくって水槽に入れ、持参した生物図鑑などで生き物の種類や数を記録していました。最初はカエルを怖がっていた子どもたちも観察会の終わりには手でつかんで遊ぶほど慣れ親しんだ様子でした。



▲観察ウォーク前のコンサートで熱唱するシンガーソングライターの松山隆宏さん(東京都)



ゲンジボタルが集落近くの川沿いに乱舞する「螢の里」を町内外にPRし、地域を盛り上げようと6月11日(土)「別府ホタルまつり」が開かれました。

会場の別府公民館駐車場では、地元青壮年グループ「松青会」や小松地子ども会、自治会などが焼き鳥、綿菓子などのバザーを出店し、まつりを盛り上げました。また、6

ホタル観察ウォークとフォークコンサートで賑わい ～別府ホタルまつり



▲名付けてホタル焼きそば! 「ホタルは入っていないけど、美味しいよ～」

月に別府地域に着任したばかりの地域おこし協力隊員が風船を様々な形に加工するパルーンアートの体験コーナーを設け、子どもたちの人気を集めていました。

まつりの最後には、会場近くの尻無川周辺でホタル観察ウォーキングがあり、参加者は川沿いのあちこちで乱舞するホタルの幻想的な光に見入っていました。

まつりを主催した別府地域連合自治会の樋ヶ昭義会長は「今年は例年になくホタルも多く、たくさんの方に来場者に楽しんでもらえた。若者定住住宅や地域おこし協力隊など地域が元気になる材料も豊富。地域力を更に高めたい」と意気込んでいました。



▲「おねえさん、みてみて～」

大和中学校の3年生18人が、6月30日(木)都賀保育園を訪れて保育実習を行い、園児との交流を深めました。中学校では家庭科の授業に乳幼児との関わりを学ぶ学習があり、大和中学校ではその仕上げとして毎年、都賀保育園を訪れて保育実習をしています。

この日、生徒たちは3～5歳までの園児とともに、紙コップを使ったおもちゃづくりに挑戦。園児たちがマジックやクレヨンで紙コップに思い思いの絵を描いた後、輪ゴムやナイロン袋、たこ糸、ビ

おもちゃづくりをとおして園児と交流 ～大和中学校3年生が保育実習

玉を使い、楽器や糸電話などのおもちゃを作り上げました。生徒と園児は、早速完成したおもちゃを手に歓声をあげながら一緒に遊びました。

また、園庭に出て園児とともに、砂遊びやかっこ、かくれんぼなどをし生徒たちは汗びっしょりになりながら交流を楽しみました。

3年生の土田良太さんは「完成したおもちゃを喜んで遊んでいる子どもたちの表情を見て嬉しかった。保育士さんの仕事は大変そうだけど、やりがいがありそう」と話していました。



▲おにいさん、おねえさんが遊んでくれて子どもたちも嬉しそう

おめでとございませう

防犯功労者

島根県防犯連合会

島根県警感謝状

地域の防犯活動に大きく貢献したとして、5月16日(月)、美郷町内の団体と個人に感謝状が贈呈されました。

・団体

邑智郡地域安全推進指導員

協議会邑智支部

・個人

黒川 民次郎 (都賀行)

(邑智郡地域安全推進員協議会)

大和支部指導員)

民生委員

厚生労働大臣特別表彰

民生委員として長年にわたり活動したとして、厚生労働大臣特別表彰状が贈られました。

・奥野 芙美子さん (乙原)

保護司 法務大臣感謝状

保護司として長年にわたり活動したとして、法務大臣感謝状が贈られました。

・安田 玲子さん (港)



ありがとうございます

東日本大震災 義援金のお礼

東日本大震災の発生を受け、3月14日から5月13日まで、役場、大和事務所、各公民館で募金箱を設置したところ、町民の皆様から多くの義援金をお寄せいただきました。美郷町社会福祉協議会へ寄付させていただきました。誠にありがとうございました。

義援金総額 377,165円

LED電球の街灯30本を寄贈

「アイ・ねっと株式会社」

美郷町の光ファイバ敷設事業「みさと光ネット」の施工計画業者「アイ・ねっと株式会社」(石原俊太郎代表取締役・松江市)から、LED(発光ダイオード)を使用した街灯30本が町に贈られました。町では寄贈されたLED街灯を、公共施設の電球更新時に併せ、設置していく予定です。ありがとうございました。



▲「安全・安心の町づくりに役立てください」と沖野町長にLED街灯を手渡す石原俊太郎代表取締役

地域密着型の広報紙で最優秀賞

島根県警交番・駐在所広報活動コンクール 吾郷駐在所広報紙「江の川」

県内の駐在所や交番が定期的に発行する広報紙のコンクールが行われ、吾郷駐在所の佐々木和博巡查部長が発行している「江の川」(平成22年7月号)が最優秀賞に選ばれました。

コンクールは、安全・安心な社会を求める声の高まりを受け島根県警が10年ぶりに復活。県内から寄せられた40点を島根県警本部長など関係者が、地域性やわかりやすさなどを中心に審査しました。

「江の川」は鮎釣りの解禁情報や青パト隊発足の記事など、地域内の情報を織り交ぜており、それらが高い評価を受けました。

佐々木巡查部長は、昭和61年に都川駐在所(浜田市旭町)勤務時に発行した「広報八戸川」が全国大会で第3位にあたる警察庁保安部長賞を受賞した

ほか、県内の各駐在所勤務時に発行した広報紙が計10回、島根県警から最優秀賞を受賞しています。



▲賞状を手に受賞を喜ぶ佐々木巡查部長



▲「手書きからパソコン編集に変わったけど、読者への思いは同じです」と佐々木巡查部長

〈インタビュー〉

問 「とかく内容が固くなりがちなイメージの警察広報紙ですが、普段から心がけていることは？」

答 「知らせたい内容に注目してもらえよう、見出しやレイアウトには気をつけています。普段から(広報紙作成を)うまくやりたいという気持ちを持つようにし、新聞の見出しの付け方なども常に参考にしています。スポーツ新聞の見出しは、勉強になります(笑)」

問 「これまでの苦労話や嬉しかったことは？」

答 「毎月発行し続けるのは大変です。特に、事件事故が多いと、その事務処理に追われ



▲受賞した「江の川」(平成22年7月号)

るので苦労します。また、発行紙を管轄の地域内に届けるのは意外に大変でした。その点、自治会長さんを通じての配布体制が整っている美郷町は住民の方に安定して届けることができます。嬉しかったことは、隠岐での勤務時に受賞した際は、地域をあげて祝ってもらったことです。」

問 「今後の抱負は？」

答 「広報紙には人柄が表れます。皆さんからの毎月楽しみにしています、という言葉や励みに、地域性を大切に、やわらかな表現を心がけていきたいです」

「安全・安心のまちづくり」への意識が年々高まる中、地域密着の情報を上手に織り込んだ駐在所広報紙の役割は今後も益々増加しそうです。佐々木巡查部長の今後の活躍を祈っています。

お知らせ

ジェイアラート
J-ALERT
(全国瞬時警報システム)
を実施します

美郷町では、ジェイアラート(全国瞬時警報システム)を利用した緊急放送を8月1日(月)から運用開始します。J-ALERTとは、大規模災害や武力攻撃事態が起きた際に、国民保護のために必要な情報を、通信衛星を利用して瞬時に地方公共団体に伝え、自動的に防災行政無線で住民に緊急情報を伝達するシステムです。J-ALERTを利用して伝達する情報は、次の5つです。

- ① 大規模テロ行為情報
- ② 弾道ミサイル攻撃情報
- ③ ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- ④ 航空攻撃 (以上は中国地方で起こった場合)
- ⑤ 島根県東西部を震源とする震度4以上の地震が予想される場合

①～⑤が、発生または予想される場合、国からの情報が自動的に防災無線で放送されます。いち早く緊急情報を伝達することで、住民に早期避難などを促し被害軽減をめざしています。放送が流れた場合、あわてず行動し、身の安全を確保してください

▼問い合わせ先

役場総務課 (☎75・1211)

お知らせ

児童扶養手当の現況届の提出をお忘れなく

児童扶養手当とは、父母の離婚などにより父親と生計を共にしていない児童の母、または父が身体などに重度の障害（障害年金受給者を除く）がある児童の母、あるいは母に代わってその児童を養育している人に対し支給される手当です。

・手当の月額（児童1人の場合）

全部支給 41,550円

一部支給 9,810円～41,540円

・手当の支給月 年3回（12月、4月、8月）

現在受給中の方は、毎年8月に現況届の提出が必要です。（継続申請）

現況届を提出せずに2年経過すると受給資格がなくなります。

▼問い合わせ先

役場住民福祉課（☎75・1213）

お知らせ

特別児童扶養手当及び特別障害者手当・障害児福祉手当の所得状況届の提出をお忘れなく

特別児童扶養手当及び特別障害者手当（障害児福祉手当）は、精神または身体に障害を有する障害者及び児童の福祉の増進に寄与することを目的とした社会保障制度で、在宅障害児の監

護、養育者及び介護者に対する支援的性格を有する社会福祉制度です。

受給者の方には所得状況届の提出についてお知らせしています。所得状況届は今後1年間の受給資格を審査するもので提出が義務付けられています。提出しないと支給が停止され、2年間提出しないと受給資格がなくなります。

○提出期間

平成23年8月11日（木）～9月9日（金）

▼問い合わせ先

役場住民福祉課（☎75・1213）

大和事務所（☎82・3121）

お知らせ

交通事故により重度の障がいを負われた方へ

・自動車事故で重度の後遺障がいを負った方で、介護が必要になった場合、介護料を支給します。
・保護者が交通事故で死亡または重度の後遺障がいを負ったお子様に育成資金を貸し付けます。

○重度の後遺障がい者介護料支給

自動車事故で、「脳」「脊髄」または「肺、心臓、胃など」を損傷し、重度の後遺障がいがあり、介護が必要な方。介護料は、月額29,290円～136,880円（状況に応じて支給）

○交通遺児等の育成資金貸付

自動車事故で保護者が死亡または重度の後遺

障がいを負い、その子が中学校を卒業するまで、保護者に無利子で育成資金を貸し付けます。貸付金額は、子ども一人につき、一時金15万5千円・毎月2万円・小中学校入学時4万4千円

▼問い合わせ先

自動車事故対策機構島根支所

（☎0852・25・4880）

お知らせ

日本脳炎予防接種 定期接種対象者の接種年齢が拡大されました。

美郷町は、平成23年度中に3～5歳、9歳及び10歳になるお子さんに対して、第1期（3回）の未接種分について積極的な接種勧奨を行っています。平成23年5月20日付で法改正され、公費で受けられる対象年齢（＝特例対象者）が拡大されました。

下記の特例対象者は、日本脳炎の接種回数4回（1期・3回、2期1回）のうち、未接種分を公費で接種できます。接種希望される場合は、健康推進課までお問い合わせください。

○特例対象者

平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれ

○接種対象期間

対象者が20歳になる前まで（※現在3～7歳6カ月未満、9～13歳未満の標準的な接種期間に該当する方は、その年齢内に接種してください。）

○接種する回数

4回の接種のうち、不足分を接種できます(ただし、4回目は9歳以上の方)

○接種方法

(1)積極的接種勧奨年齢の方に、6月に予約をお送りしています。(3歳になるお子さんのみ、誕生日以降に随時送付します)それ以外の特例対象者で、接種希望の場合は、健康推進課までお問い合わせください。予約をお送りします。

(2)必ず下記指定医療機関へ1週間前までに予約をして接種を受けてください。

- 波多野診療所(粕洲) ☎75・1232
- 秦クリニック(粕洲) ☎75・1661
- 大和診療所(都賀本郷) ☎82・2216
- 公立邑智病院(邑南町) ☎95・2111
- 大田市立病院(大田市) ☎0854・84・7571

▼問い合わせ先

健康推進課(☎75・1932)

お知らせ

介護人材緊急雇用事業
(後期)参加者募集

介護分野で働きたい方を対象に、浜田市内での介護専門資格(ホームヘルパー2級)の取得支援と、介護保険施設等でのお試し勤務を通じ、適性やニーズに合った就職先選びをお手伝いし

ます。(定員は10名程度で解雇、雇止めにより離職した方等を優先します)

・募集〆切 8月12日(金)

・受講料 無料

▼問い合わせ先

島根県社会福祉協議会石見支所
(☎0855・24・9340)

お知らせ

お米の産地がわかります!
産地情報の伝達が

7月から義務化

7月から「米トレーサビリティ法」が完全施行され、米・米加工品について、産地情報を消費者に伝達することが義務付けられました。今後は、容器・包装、外食店でのメニュー表示で、米の産地が確認できます。

▼問い合わせ先

島根県農林水産部食料安全推進課
(☎0852・22・5649)

人事

地域おこし協力隊

7月1日付で地域おこし協力隊として次の隊員を採用しました。よろしくお願ひします。

第2期地域おこし協力隊(比之宮)



小川 珠奈
(神奈川県横浜市)

※美郷町内で活動する地域おこし協力隊員は、7月1日現在18人になりました。

▼問い合わせ先

役場企画課(☎75・1924)

人事

集落支援員

7月1日付で集落支援員が次のとおり交代しました。

・上野地区



橋本 力男

・別府地区



岩根 和博

▼問い合わせ先

役場総務課(☎75・1211)

シリーズ 「防ごう！消費者トラブル」

消費トラブルに関する相談は
〈消費者ホットライン〉
(☎ 0570-064-370)

開運商法の広告は 「その先」にも注意が必要！

折込みチラシや雑誌広告で「このアクセサリを身につければ、不思議な力で大金持ちに！」などと射幸心をあおる、いわゆる開運商法。

「値段はそう高くないし、返品可能だから、試してみるか…」と軽い気持ちで注文すると、後々トラブルに巻き込まれる場合があります。



返品できるはずが…

○これが「靈感商法」の手口です！

・効果がないので業者に連絡したら、「何百人に売ってきて効果がないといわれたのは初めてだ。特別に霊能鑑定しましょう」となり、「悪い霊が憑いてい。百万円の壺を買えば幸福になれる」などと、さらに高額の商品を売りつけられてしまう。

○幸不幸は主観的な要素が大きく、悪質事業者はそこにつけ込みます！

・業者に文句をいうと「幸福になれなかったということを証明しなさい。できなければ返品は受け付けません」と言われる。

○広告をよく見てください、「返品」について条件（返金や手数料）は明示されていますか？

・いざ返品しようとしたら「手数料は〇万円です」と、返金どころか追加費用を求められてしまう。

●法律で広告は規制されています（でも限界も……）

例えば、事実と著しく異なる表示は「誇大広告」として法律で禁止されています。しかし、悪質業者の手口は年々巧妙になり、「絶対に効果があるとは言っていない」「体験談を載せているだけ」などの逃げ道を用意している例が増えています。

法と悪質業者の手口はいたちごっこ。だからこそ、何よりもまず消費者一人ひとりが冷静な判断力をもって対応することが大切です。

▶お問い合わせ先 美郷町消費者問題研究会（住民福祉課内）（☎ 75-1213）

食育だより

(美郷町食育推進会議からのお知らせです)

美郷町では、子どもから高齢者が「食を楽しみ、健康のために食を選択し、実践できる」ことを目指し、関係機関や団体でつくる「美郷町食育推進会議」で、様々な取り組みを行っています。昨年度に行った食育推進計画中間評価結果から、今年度は以下の3点を重点的に取り組みます。

〈食育の取り組み〉……………

取り組みの柱

1. 朝食を食べる人が増加する
2. 主食、主菜、副菜を食べる人が増加する
3. 地産地消の意識のある人が増加する



4つのお皿のタペストリー

小学校では



6月8日(水)、邑智小学校で、2年生の給食参観が行われました。子どもたちとの会食後、石橋栄養教諭がランチマットと4つのお皿のタペストリーを使ってバランス良い食事について講演。保護者の皆さんは、家庭でも主食、主菜、副菜が揃った食事が重要性を実感しました。「バランス良い食事はもちろん、大人も普段から器の位置を意識して、子どもに伝えていくことが大切」と、石橋栄養教諭は話していました。



保育所では

6月15日(水)、沢谷保育所で、小児生活習慣病予防教室が開催されました。健康推進課の岩谷保健師が、4つのお皿のタペストリーを使い、バランスよく食べることの大切さを保護者に伝えました。次に田邊栄養士がバランスのよい弁当作りのポイントについて説明し、親子クッキングを行いました。子ども達は保護者と一緒にクッキングや試食を行い、とても楽しそうでした。



地域では

6月20日(月)比之宮ふれあい農園で、地域の子供達も、交流センター長島所長の指導を受けながら、さつまいもを植えました。自分の植えた苗に名札を付け、沢山収穫出来るよう丁寧に植えていました。秋には、地域の方と一緒に収穫し、料理やおやつ等を作り、自分で育てた芋の美味しさを味わう予定です。



▶お問い合わせ先 食育推進会議 (健康推進課) (☎ 75-1932)

リレー記事 【集落支援員だより】 えがおの明日へ

～元気な美郷になるための取り組み～

連載第6回 君谷地域

美郷町では、地域の課題解決や活性化のために、地域ごとに配置された集落支援員が活動しています。

活動内容は地域によって様々。連合自治会をはじめ地域の皆さんと力を合わせて取り組んでいます。

このシリーズでは、集落支援員が日々の活動で感じたことやその思いなどを、連載で紹介していきます。

君谷地域集落支援員 川角 義信

地元連合自治会の推薦をいただき、平成21年10月から集落支援員を担当しています。また、今年4月の町の組織、支援員制度の改正に伴い、町内4箇所の交流セン

ターに集落支援員が配置されることとなり、私も君谷の所長・副公民館長として不慣れながらも初めての業務・活動にあたっていきます。集落支援員となり早2年。どのように取り組み、進めていけばいいのか、悩み、考えながらの日々ですが、私が関わっている君谷地域の活動を紹介します。

集落支援員となつての当初の仕事は、連合自治会の設立・組織化でした。就任以前も連合自治会長をしており、21年5月頃から、現在の三宅連合自治会長や当時の君谷交流センター所長と共に、各自治会長・各団体代表者等の会合を重ねました。幸い、皆様のご理解のもとで機運が高まり、他地域に若干遅れながらも新組織の誕生に至りました。この誕生が、この後の地域の活動、取り組みに大きな影響、力を発揮することになります。

その後、君谷地域の様々な状況、課題を網羅的に調べる集落点検に取り組みしました。各自治会長のお力添えもあり、まとめることができました。集落点検を通じて、君谷では葬儀の際の香典返しの品を

見直してはどうかとの声が出て、自治会ごとに検討をしていたらくことになり、引き続きのテーマになっていきます。

今年3月には、風景を楽しみながらの初のウォーキング大会を開催し、小学校低学年の子どもも含め60人以上の参加がありました。地元の乳牛放牧場までの往復約7キロのコースを歩き、牧場で搾りたての牛乳や女性部の心のこもったおむすびをご馳走になるなど、盛況で和気あいあいの一日となりました。次回は、石見銀山街道を予定しています。

当地域も高齢化が急激に進み、独居者も多くなっていることから、地域の安全安心のため青色パトロール隊の結成を呼びかけたところ、多くの賛同をいただきました。隊員18名・車16台での結成となり、君谷保育所園児も参加して晴れの出発式になりました。(写真)

この3月末には、残念ながら君谷駐在所が廃止となりましたが、青パト隊の結成は地域としては時機を得たものになったと思います。

現在は、町に要請していただきました地域おこし協力隊が3人配置さ



れ、町担当者・地域おこし協力隊・自治会で会議を持つて、模索しながら活動計画の作業に没頭しているところです。

【ご意見をお寄せください】

集落、自治会に関連する施策に対するご意見などをお寄せください。

担当課

総務課行政改革室

(☎) 75・1211

連載

「これならできる！」

獣害対策「第8回



皆さんがこの記事を読むのは7月下旬。間もなく田んぼでは出穂：イノシシの大好きな乳熟期に入ります。今回は、柵で田んぼを囲う前に、ぜひ知っておきたい柵作りのポイントです。柵も設置方法や管理方法を間違えると逆効果。しっかり読んでぜひチェックしておきましょう

ネットは、 たるませて支柱の外に

よくある失敗は2つ。支柱の内側（山側でなく田んぼ側）に張ってしまう失敗と、きつく張りすぎると、ほんの少しイノシシが押しただけで支柱の上部に力がかかり簡単に支柱が倒れます。これでは防護柵ではなくて縄のれん。次に、

几帳面な人がやってしまうとネットの引つ張りすぎ。菱形が横長に変形するほど引つ張るのではなく、タルタル、ユルユル張りして下さい。地面はデコボコなのに、ピンと張ってしまったのはネットの裾に必ず隙間ができます。体型がくさび型のイノシシが鼻面を下げて隙間に突っ込んでしまえば苦もなく侵入です。ネット柵では「ネットは支柱の外側に、たるませて下手に張る」が秘訣です。

トタン柵は

外側の草刈りが最重要

せつかくトタン柵を張りながら、あまりにも山際に張りすぎて、柵の外側の管理ができていない事例をよく見かけます。トタンの外側にススキ、ササ、灌木などが生い茂ると、トタン際が安心できる潜在場所になり、山の獣道がトタンまで下りて来ます。やがて、あなたがラジオを聴きながら農作業をしているほんの数メートル先のトタンの陰でイノシシが昼寝や子育てを始めます。人の気配や農機の音に慣れる訓練をしてあげている

よつなものです。

いつも張りつ放しで、外側は草刈りをしていないトタン柵は、被害防止柵どころか、集落へのイノシシ定住推進柵になりかねません。せめて草刈り機で一回り分の巾（1〜2メートル）だけでもいいから、トタン柵の外側も管理して下さい。「トタン柵、外側刈らねばイノシシ寄せ」。電柵は、

電柵は、 電気を切ればただのヒモ

最も多い失敗は、設置しながら電気を切ること。一旦設置したら24時間通電が鉄則です。夜だけの通電や、稲刈りが終わったから切るといったことが、地域全体で電柵の効果を無くします。次に、高さ間違い。電牧線の高さは、イノシシ・シカで地表から20、40、60センチです。アナグマ・タヌキなら、下段のさらに下、地表から10センチに追加します。地面の窪みや水路付近では支柱の間隔を詰めたり部分的に段数を増やすなど工夫して下さい。一箇所でも、地表から30センチ以上隙間があると、



単なる気休めかマジナイ。電柵のポイントは「20、40、60センチ、24時間忘れず通電」です。また、稲刈り跡のヒコバエや、有機米のための冬のクローバなどを囲わないのは、サル、シカ、イノシシ、ノウサギなどを増やす餌付け行為でしたよね。（2月号の記事を読み直してみよう）。

今回は「サル対策のための柵の強化法」です。

中国四国農業研究センター

鳥獣害研究チーム専門員

井上 雅央

地域を変える新しいチカラ

地域おこし協力隊通信 第10回 吾郷地域 地域おこし協力隊



4月より第4期地域おこし協力隊として吾郷地域に配属されました。群馬出身で4年間東京にいました。今春、大学を卒業したばかりで農業等も未経験なため、何もかもが足りていませんが地域の方の親切に助けられながら、住民の方への支援や吾郷地域の地域おこしに協力させていただいています。

吾郷地域としては、築瀬にある旧吾郷小学校を利用して生涯学習をすることによってその手伝いをするのが重要な仕事の一つになりますが、現時点で

はまだ改修工事が行われておらず、併せて作られる予定の私たち協力隊の事務所もまだありません。そのため、色々ところで紹介して貰っていますが、まだまだ知れ渡ってないように思います。7月より順次工事が始まり、仮事務所も作られるのでこれから資料を配布し、本格的に依頼を受けて活動していくこととなりますが、その時に恥ずかしくないよう草刈り等、今現在練習を重ねています。

工事は11月頃終了の予定ですが、それに先立ち先日は校庭に芝を移植しました。休日にも関わらず多くの地域の方が協力して下さり、本当にありがとうございました。私たちのことをよく知ってもらいながらこれから3年間、皆様のお手伝い出来るよう、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



第4期(吾郷)地域おこし協力隊
たなか せいや
田中 聖也



石川短歌会

選者 藤原 俊彦 先生

隣家の櫓の大木芽吹きあて重なる
梢のしなやかに見ゆ

平石佳寿子

雨霧の深き穴道湖はかすみあて
水鳥の姿今日は見えざり

藤田乃富子

一たびも着ることもなく派手になりし
着物はたたみ仕舞ひをきたり

坂東フジ子

「仰げば尊し」を惚けたる友の口ずさめば
共に歌へり涙ぐみつつ

山本キヨエ

花便りは人より聞きあて久々に
出づれば桜の満開に偲ふ

藤原 章

美しき藤の花日々に愛で来しに
闌けし花房惜しみつつ切る

原野 幸

今を盛りと咲き誇りある五色桃
夫の愛でゐしと思へば哀し

松浦 智子

故郷の廃校となりし校庭の
桜の幹にしばし手をおく

伊竹 藤枝

真向ひの県道にたちし防犯灯
若葉しげりて殆ど見えぬ

増田 政子

帰るたびに我ら二人の老い進むと
四人の娘話しゐるらし

原田 秀子

洗濯物干しゐる庭に花吹雪
われにもかかる今朝は一人

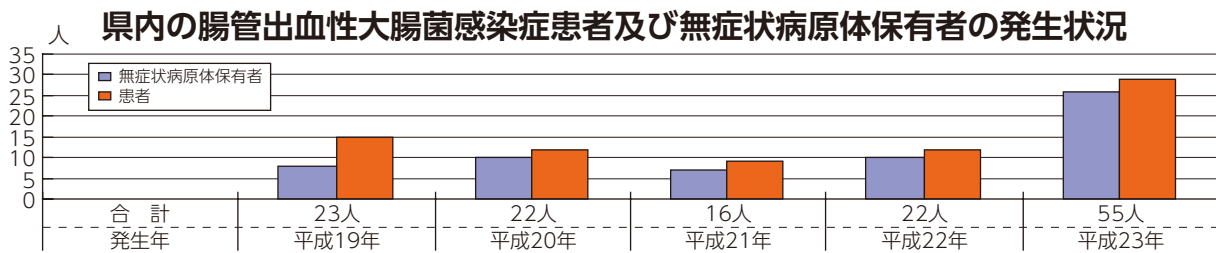
今馳 幸子

選者詠
百本の真紅の薔薇の

活けられて百歳の母を祝ひて下さる

腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26等) に注意しましょう!

今年は昨年に比べ、腸管出血性大腸菌による感染症の発生が増加しています(H23年6月15日現在)



腸管出血性大腸菌感染症とは？

原因は毒素を発生する「腸管出血性大腸菌」による感染です。腸管出血性大腸菌は動物の腸管内など自然界に広く分布しています。

感染経路 飲食物を介する経口感染です。

- ◎菌に汚染された飲食物を摂取する。
- ◎汚染された場所を触った手指を介して口から体内に入る。

特徴 ◎潜伏期間 3～5日(平均)

- ◎症状 腹痛、下痢(通常の下痢、頻回の水様下痢)、血便など
- ◎重症化に注意 溶血性尿毒症症候群等の合併症を起こすことがあります。

咳、くしゃみ、汗などからは感染しません。

溶血性尿毒症症候群：毒素により腎臓の細胞が傷害されて発症する、溶血性貧血、血小板減少、急性腎不全の3つを特徴とする状態。主症状は尿が出にくい、出血を起こしやすい、頭痛など。

感染を防ぐには？

- ・調理前、食事前、トイレ使用後には、必ず手を洗いましょう。
- ・食肉等を調理する時は、中心部まで十分に加熱(75℃・1分以上)しましょう。
- ・生肉や加熱不十分な肉を食べないようにしましょう。
- ・焼き肉時は、生肉に触れる箸と食べる箸を分けるなど、箸の使い分けをしましょう。
- ・調理器具の洗浄、消毒を十分に行いましょう。
- ・水道水以外の水(飲用井戸水など)は煮沸するなど、消毒してから使いましょう。



下痢等の症状がある場合には？

- ・腹痛・下痢・血便等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。
- ・トイレ使用の後には、石けんを使い、流水でしっかり手を洗いましょう。
- ・タオルの共有は避けましょう。
- ・入浴をする場合は、シャワーのみにするか最後に入浴するなどしましょう。
- ・プールの利用はやめましょう。
- ・便で汚れた衣服などは、煮沸や薬剤で消毒し、家族のものとは別に洗濯して、天日で十分に乾かしましょう。
- ・調理は避けましょう。特に調理業務など飲食物を扱う業務に従事している方は、下記の機関に相談しましょう。



問い合わせ先 島根県薬事衛生課感染症グループ (☎ 0852-22-5254)
役場 健康推進課 (☎ 75-1932)

8月の行事予定

1日(月)	
2日(火)	交通事故巡回相談(大田市役所) 9:00~15:00 健康相談(都賀行隣保館) 13:30~14:30
3日(水)	中国補聴器センター相談会(開発センター)
4日(木)	健診結果報告会(都賀地区)
5日(金)	食育講演会(開発センター)
6日(土)	すくすく相談(美郷町子育て支援センター)
7日(日)	
8日(月)	健診結果報告会(比之宮、都賀行地区)
9日(火)	大和診療所 午後:休診
10日(水)	
11日(木)	
12日(金)	健康相談(響谷集会所、潮公民館)
13日(土)	盆交流サミット(長藤集会所)
14日(日)	
15日(月)	
16日(火)	
17日(水)	
18日(木)	健康相談(基幹集落センター、上野ふれあい会館)
19日(金)	
20日(土)	夏の交通事故防止運動(7/21~8/20まで) 夏の体験交流inみさと(己斐子ども会交流) (~21日)
21日(日)	
22日(月)	
23日(火)	行政相談(君谷交流センター) 大和診療所 午後:休診 美郷町版事業仕分け(開発センター)
24日(水)	すくすく相談(美郷町子育て支援センター) 健康相談(比敷集会所、比之宮交流センター)
25日(木)	健診結果報告会(粕刈地区) 9:30~14:30 西日本補聴器相談会 13:00~14:30
26日(金)	
27日(土)	
28日(日)	
29日(月)	
30日(火)	
31日(水)	

人口と世帯

人口 5,548 人

男 2,603 人 (-1人)
女 2,945 人 (+5人)
世帯数 2,455 世帯 (+3世帯)

() は先月との比較(住民基本台帳による7月1日現在)

慶 弔 (6月分届出・敬称略)

※慶弔欄は、掲載を希望された方のみ掲載しています。町外で届けられた方で
名前の掲載を希望される方は、企画課(75-1924)までご連絡ください。

愛のともしび (6月受付分)

社会福祉協議会へ次の方々よりご寄付を頂きました。(敬称略)

かるたで学ぶ男女共同参画

島根県が、男女共同参画社会づくりへの意識を高めることをめざし「かるた」を作成しました。

わかりやすくて子どもや大人まで楽しめるかるたです。無料貸出を行っています。地域のイベントや職場などでぜひご利用ください。



▶お問い合わせ先 役場企画課 (☎ 75-1924)